別記様式第15号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年 牛乳生産費統計調査票

SAMPLE

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

1．○年１月１日～○年12月31日までの１年間について記入してください。
2．調査項目欄には、右づめで記入してください。
3．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4．オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	1

ご不明な点がございましたら、次のお問い合わせ先までご照会ください。

【問合せ先】

2015センサス番号										

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「生乳の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年１月１日～〇年12月31日の間に、次の牛の飼育に要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

① 搾乳牛・・・ホルスタイン等の乳用牛の雌（経産牛）
② 子　牛・・・搾乳牛から生まれた、生後10日齢までの子牛
③ 育成牛・・・将来、搾乳牛として育成する乳用牛の雌（後継牛）

→ 調査では、これらの牛を**「調査対象畜」**といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。
例えば、調査対象畜（酪農）と合わせて肥育牛を飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例１を、わからない場合には下の記入例２を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例１　調査対象畜（酪農）分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140ｔ、７百万円の配合飼料を給与した場合、数量に**140ｔ**、金額に**７百万円**を記入し、調査対象畜負担割合を**100%**と記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	140	t	7000000	100

●記入例２　調査対象畜（酪農）分の給与量・金額を記入できない場合（調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合）

経営全体で、１千万円の配合飼料を給与した場合、数量に**200ｔ**、金額に**１千万円**を記入し、調査対象畜負担割合には、**経営全体に占める調査対象畜の割合**を記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	200	t	10000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜（酪農）以外の家畜を飼育している場合の設定方法を説明します。（※ここでは、搾乳牛と肥育牛を飼育している事例で説明します。）

（１）配合飼料の場合

経営全体の家畜（搾乳牛＋肥育牛）の飼養頭数のうち、搾乳牛の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{搾乳牛の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち搾乳牛が21頭、肥育牛が９頭の場合、調査対象畜負担割合は７０％（21頭÷30頭×100）になります。

（２）畜舎の場合

畜舎の全面積のうち、調査対象畜（酪農）の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した畜舎の面積}}{\text{畜舎の全面積}} \times 100$$

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜（酪農）に240㎡、肥育牛に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は８０％（240㎡÷300㎡×100）になります。

（３）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外に90日使用した場合の調査対象畜負担割合は４０％（60日÷150日×100）になります。

◎調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。以下を参考に記入してください。

（４）倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜（酪農）の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の「調査対象畜負担割合」は３０％（45㎡÷150㎡×100）、「自給牧草負担割合」は５０％（75㎡÷150㎡×100）になります。
＜倉庫（150㎡）の負担割合のイメージ図＞

倉庫全体（150㎡）

調査対象畜の飼料置き場（45㎡）	自給牧草生産用の農機具の保管場所（75㎡）	その他（30㎡）

調査対象畜負担割合：３０％　　自給牧草負担割合：５０％

SAMPLE

調　査　事　項

ページ

【１】経営の概況 …… 3
経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。

【２】生産物の販売等の状況 …… 4
生乳生産量及び生乳、子牛の販売状況等を記入してください。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 7
飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料や牛乳検査料等の賃借料・料金等を記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担 …… 11
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。

【５】消費税 …… 11
消費税申告書により申告した消費税を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 11
借入金残高、支払利子を記入してください。

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 12
建物・構築物の所有状況を記入してください。

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 13
自動車等の所有状況を記入してください。

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 14
農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。

【10】農具の購入費等 …… 15
スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。

【11】搾乳牛等の所有状況 …… 16
搾乳牛及び子牛等の転入又は転出の異動状況を記入してください。

【12】作業別労働時間 …… 16
家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地） …… 17
地代を記入してください。

【14】乳用牛の月齢別の飼育経費 …… 17
搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛の飼育に要する経費や労力の割合を乳用牛の月齢ごとに記入してください。

SAMPLE

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　分	所有地（ａ）		借入地（ａ）	
	ha	a	ha	a
田				
普　通　畑				
樹　園　地				
牧　草　地				

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　分	用語の説明	男（人）	女（人）
世　帯　員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農業年雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる	いない

通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）

【２】生産物の販売等の状況

１　生乳

生乳の生産量等を月別に記入してください。
ただし、１年分の生産量等をまとめて記入できる場合には、１月分の記入欄に年間計を記入してください。
乳脂肪生産量（kg）や無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合には、乳脂肪分率（%）や無脂乳固形分率（%）を記入してください。
また、「価額」には、乳代、加工原料乳生産者補給金等の補助金、販売手数料及び集乳経費を記入してください。

１月分（または年間計）

区　分		数　量（kg）	価　額（円）	内　容
実搾乳量	出荷（乳代）	万 千 百 十	万 千 百 十	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳脂肪生産量			.	⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。
無脂乳固形分生産量			.	⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第２位まで記入してください。

２月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）	
実搾乳量	出荷（乳代）	万 千 百 十	万 千 百 十	
	補給金等			
	販売手数料			
	集乳経費			
	小売り			
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳脂肪生産量			. %	⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。
無脂乳固形分生産量			.	⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。

３月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）	
実搾乳量	出荷（乳代）	万 千 百 十	万 千 百 十	
	補給金等			
	販売手数料			
	集乳経費			
	小売り			
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳脂肪生産量			. %	⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。
無脂乳固形分生産量			.	⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。

４月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）	
実搾乳量	出荷（乳代）	万 千 百 十	万 千 百 十	
	補給金等			
	販売手数料			
	集乳経費			
	小売り			
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳脂肪生産量			. %	⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。
無脂乳固形分生産量			.	⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。

SAMPLE

【２】生産物の販売等の状況（続き）

５月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）	内　容
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販　売手 数 料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小 売 り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。	. %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。	.

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第２位まで記入してください。

６月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手 数 料		
	集乳経費		
	小 売 り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。

７月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手 数 料		
	集乳経費		
	小 売 り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。

８月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手 数 料		
	集乳経費		
	小 売 り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。

SAMPLE

【２】生産物の販売等の状況（続き）

９月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）	内　容
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販　売手数料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小　売　り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。	. %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。	.

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第２位まで記入してください。

10月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手数料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

11月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手数料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

12月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手数料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

SAMPLE

【２】生産物の販売等の状況（続き）

２　子牛

１年間に搾乳牛から生まれた子牛のうち、死産等により「牛トレーサビリティ」（耳標番号）を登録しなかった子牛の頭数を品種別に記入してください。

区　　分	乳用種		交雑種（Ｆ１）		黒毛和種（受精卵移植）	
	雄	雌	雄	雌	雄	雌
耳標番号を登録していない子牛の頭数（頭）						

３　きゅう肥の利用状況

１年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合（%）	販売用	自家利用	廃棄
100			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。（販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。）

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。

販売金額（円）
万 千 百 十

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量をご記入ください。

物々交換した場合		
品目名（具体的に記入）	数量 万 千 百 十	単位

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等

１　購入飼料

１年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
（自給飼料は、８ページに記入してください。）

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には、100を記入してください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 = 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

区　　分		数　量 万 千 百 十	単位	金額（円） 万 千 百 十	調査対象畜負担割合 %
穀類	大麦				
	その他の麦				
	とうもろこし				
	大豆				
	飼料用米				
	その他穀類				
ぬか・ふすま類	こうすま				
	米・麦ぬか				
	その他のぬか・ふすま類				
植物性かす類	大豆油かす				
	ビートパルプ				
	その他の植物性かす類				
配合飼料					
TMR（粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）					
牛乳脱脂乳					
いも類及び野菜類					
わら類	稲わら				
	その他のわら類（麦わら等）				
生牧草					
乾牧草	ヘイキューブ				
	その他の乾牧草				
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）				
	稲発酵粗飼料				
	その他のサイレージ				
上記以外の購入飼料					

SAMPLE

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

２　自給飼料

【調査対象畜負担割合について】
・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、１年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。
また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製する前の重量）です。

区分		自給飼料の例示	生牧草（生の状態で給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	乾牧草（乾燥させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	サイレージ（発酵させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	左記の牧草の生産状況 作付面積	収穫量	単位
いね科	デントコーン		万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	ha a	万 千 百 十	
	イタリアンライグラス													
	ソルゴー													
	稲発酵粗飼料	ＷＣＳ：ホールクロップサイレージ												
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草												
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草												
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草												
その他の牧草		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等												
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類												
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等												
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの												
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し乾燥させて給与するもの												
放牧時間（放牧場）		放牧場における放牧時間		時間										

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。

%

・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等、家畜に給与する目的以外で栽培し、１年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例

販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与
食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与　など

作物名（具体的に記入）	数量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		%

SAMPLE

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

３　種付料

(1) 種付けに支払った料金を記入してください。
（精液代、種付料等）

黒毛和種の種付け（Ｆ１）や黒毛和種の受精卵移植（ＥＴ）を含みます。

種付料金（円）	万	千	百	十

(2) 自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数を記入してください。

延べ種付回数（回）	万	千	百	十

４　敷料費

(1) 購入

１年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区　分	金　額（円）	万	千	百	十	調査対象畜負担割合 %
計						
稲わら						
おがくず						
麦わら						
乾牧草						
その他						

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

物々交換した場合

品目名（具体的に記入）	数量	万	千	百	十	単位

(2) 自給

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自給敷料の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量	万	千	百	十	単位	調査対象畜負担割合 %

５　光熱動力費

(1) 購入

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円）	万	千	百	十	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草
計							
重　油							
軽　油							
灯　油							
ガソリン							
水　道							
電力料							
その他							

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量	万	千	百	十	単位	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草

【自給で使用した燃料の例】　薪、木炭　など

SAMPLE

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

６　獣医師料及び医薬品費

１年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
	万 千 百 十	%	
計			
獣医師料			獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤、ミルカーの洗剤費用等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を参考に調査対象畜の負担割合を記入してください。

７　賃借料及び料金

１年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	賃借料及び料金の例示
	万 千 百 十			
計				
共同負担金				共同放牧場（育成牛の放牧料は除く。）、共同採草地など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料				農機具のリース代
牛乳検査料		100		
削蹄料				
疾病の検査料				義務付けられている検査（結核、ブルセラ病等）に要した費用
乳用牛群検定料		100		
その他				建物の賃借料、コントラクター料金、作業委託料

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

８　草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

１年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金（円）		土地改良事業の負担金（円）		
草地造成事業	草地整備事業	事業番号（　）	事業番号（　）	事業番号（　）
万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十

①　ほ場整備事業、②　農地開発事業、③　かんがい排水事業、④　農道（牧道）整備事業、⑤　その他の整備事業

・「金額」に「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

９　その他の資材等

前記１～８以外で、１年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために使用した購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。
また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資　材　名　等		数　量 単位	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
			万 千 百 十		
購入	計				
購入					
購入					
購入					
購入					
購入					
自給		万 千 百 十			
自給					
自給					

【調査対象畜に使用した資材例】
　ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙　など

【自給牧草の生産に使用した資材例】
　牧草の種子、肥料、諸材料、農薬、きゅう肥（購入・自給）　など

SAMPLE

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分		金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計		万 千 百 十		
固定資産税	建　物			
	農機具			
都市計画税（土地以外）				
不動産取得税（土地以外）				
自動車取得税				
共同施設税				

注：　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体の使用面積に占める調査対象畜、又は自給牧草への**使用面積割合**を記入してください。

○固定資産税（農機具）、自動車取得税、共同施設税の場合は、自動車・農機具等の経営全体の使用日数に占める調査対象畜、又は自給牧草への**使用日数割合**を記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分		金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	公課諸負担の内容
計		万 千			
集落協議会費					地域集落等の会費
農業協同組合費					農業協同組合の組合費、賦課金
酪農組合費					
生乳検査荷枠の取得費			1 0 0		
農事実行組合費					実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金					

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、酪農組合費及び農事実行組合費の場合は、**農業収入に占める調査対象畜の収入割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。
○家畜共済組合賦課金の場合は、**飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

【５】消費税

消費税申告書により申告した酪農分の消費税額を記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合
消　費　税　（納付額）	万 千 百	%

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（１月１日）の未償還残高及び買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。
また、１年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借入金種類	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計	万 千 百 十	万 千 百 十		
買掛未払金				

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜（酪農）の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜（酪農）の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

SAMPLE

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
- 該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

$$調査対象畜負担割合 = \frac{調査対象畜の使用面積}{経営全体の使用面積} \times 100 \qquad 自給牧草負担割合 = \frac{自給牧草の使用面積}{経営全体の使用面積} \times 100$$

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積（㎡）又は施設数（基）	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（円）（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費（円）（当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（円）（当年の当該建物等の火災保険料を記入してください。）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）（売却金額、取り壊しの金額）
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード

建築物					
1	住宅	5	畜舎（フリーストール）	9	たい肥舎・たい肥盤
2	事務所	6	畜舎・フリーストール以外	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	7	パーラー室	13	その他の建築物
4	作業場	8	車庫		

構築物					
20	牧柵	24	飼料用タンク	29	プラスチックハウス利用乾燥施設
21	電気牧柵	26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設	31	その他の構築物
23	サイロ	28	脱臭施設		

構造コード

建築物（1 住宅）～（13 その他の建築物）					
1	木造	4	コンクリートブロック	7	金属
2	合成樹脂造	5	鉄骨造	8	その他
3	鉄筋コンクリート	6	木造モルタル		

構築物（20 牧柵）～（31 その他の構築物）					
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。
- 畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
- 畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
- バンカーサイロのビニールの張替え費　など

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

SAMPLE

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄 に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修繕費（円）（当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）	自動車保険料（円）（当年の当該自動車等の保険料を記入してください。）	自動車・軽自動車税（円）（当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）（廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」）
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十				千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード			
（1 貨物自動車）		（2 その他の自動車）	
1	軽自動車	1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）	2	普通自動車
3	普通自動車（ダンプ式以外）	3	自動二輪・三輪

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（車両分を含む。）の掛金を記入してください。

異動コード	
1	売　却
2	廃　棄　等

SAMPLE

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、15ページに記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械（軽自動車）を記入してください。	負担割合（%）調査対象畜	負担割合（%）自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 十				万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

種類コード

5	農用ﾄﾗｸﾀｰ	32	ﾓｰﾜｰ	40	飼料粉砕機	47	ﾊﾞﾙｸｸｰﾗｰ	54	トレーラー
6	プラウ	34	ﾚｰｷｰ	41	飼料配合機	48	自動給餌機	55	運搬用機具
7	ハロー	35	ベーラー	42	ﾊﾞｰﾝｸﾘｰﾅｰ	49	ローダー	56	その他の農機具等
8	ﾏﾆｭｱｽﾌﾟﾚｯﾀﾞｰ	36	集草機	43	ﾐﾙｶｰ・ﾊﾞｹｯﾄ	50	ﾊﾞｷｭｰﾑｶｰ	57	パソコン
11	牧草は種機	37	他の牧草収穫機	44	ﾐﾙｶｰ・ﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝ	51	ふん尿搬出機	58	その他の生産管理機器
16	中耕除草機	38	積込機	45	搾乳ロボット	52	固液分離機		
17	動力噴霧機	39	搬送・吹上機	46	牛乳冷却器	53	自動給水機		

型式コード

（56　その他の農機具等）	
1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年
上記以外の農機具等	
6	その他

異動コード

1	売　却
2	廃　棄　等

SAMPLE

【10】農具の購入費等

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
	（計）	万 千 百 十			
農業被服等の購入費					【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草刈き、飼料缶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容
	（計）	万 千 百			
生産管理関係の費用					【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

SAMPLE

【11】搾乳牛等の所有状況

1　農家団体コード（牛トレサ関係）

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。
複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

農家団体コード１	農家団体コード２	農家団体コード３

2　搾乳牛の取引状況

１年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。
また、未経産牛（育成牛）を育成牧場へ預託している場合、育成牧場に預けた牛には「出」に、育成牧場から戻った牛には「戻」に○を記入してください。

個体識別番号 （10ケタの耳標番号）	名称 （記入は任意）	異動月	購入・売却 （該当に○）	取引金額（円） （購入額、売却額） 万 千 百 十	育成牧場への預託 （該当に○）
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻
			購入 売却		出 戻

【12】作業別労働時間

1　酪農に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に１日当たりの平均作業時間を記入し、下段に１年間の従事日数を記入してください。

「その他の飼育作業」とは、搾乳牛に関する以下の作業をいう。
・種付け、人工授精関係作業
・手入れ、運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水	敷料搬入・きゅう肥搬出	搾乳・乳処理・運搬	その他の飼育作業
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分	時間
				日	日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日	日
	(男)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日	日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日	日

2　酪農に関する１以外の作業

「作業名」欄の（　）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。
ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料（牧草等）の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間	時間	時間	時間	時間
	(男)(女)		(家族)(雇用)					
	(男)(女)		(家族)(雇用)					
	(男)(女)		(家族)(雇用)					

3　支払賃金

雇用者（ヘルパー、研修生等）に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区　分	金　額（円） 万 千 百 十	負担割合（%） 調査対象畜	 自給牧草
男			
女			

・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の生産のための支払い分を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給牧草の負担割合を記入してください。

SAMPLE

【13】地代（所有地及び借入地）

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。
なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

１　所有地

ほ　場　名	ほ場の例示	実面積	負担割合（%）	
			調　査 対象畜	自給牧草
建　物　敷　地	畜舎、納屋、飼料倉庫及び牛乳の冷却槽などの建物及び構築物の敷地	ha　a		
運　動　場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。）に利用した土地			
牧　草　栽　培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地			
放　牧　地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地			
採　草　地	耕地以外で過去１年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

２　借入地

ほ　場　名	実面積	支払地代（円）	負担割合（%）	
			調　査 対象畜	自給牧草
建　物　敷　地	ha　a	万　千　百　十		
運　動　場				
牧　草　栽　培				
放　牧　地				
採　草　地				

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

【14】乳用牛の月齢別の飼育経費

搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛（①生後11日未満の牛、②生後11日～６か月、③６～18か月、④18か月以上）の飼育に要する経費や労力の割合を記入してください。
なお、記入の仕方がわからない場合には、担当者にご相談ください。

１　飼料等

	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～６か月 ②	６～18か月 ③	18か月以上 ④
搾乳牛（成牛）に給与する飼料費を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に給与する飼料費の割合を記入してください。	100				

搾乳牛１頭を１か月飼育するのに要する飼料費を「100」とした場合の、各月齢の後継牛１頭を１か月飼育するのに要する飼料費の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する飼料費}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する飼料費}} \times 100$$

２　建物

	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～６か月 ②	６～18か月 ③	18か月以上 ④
搾乳牛（成牛）の飼育に使用する建物面積を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に使用する建物面積の割合を記入してください。	100				

搾乳牛１頭を飼育するのに要する建物の面積を「100」とした場合の、各月齢の後継牛１頭を飼育するのに要する建物の面積の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する建物面積}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する建物面積}} \times 100$$

３　飼育作業

	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～６か月 ②	６～18か月 ③	18か月以上 ④
搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間を「100」とした場合の、月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間の割合を記入してください。	100				

搾乳牛１頭を１か月飼育するのに要する労働時間を「100」とした場合の、各月齢の後継牛１頭を１か月飼育するのに要する労働時間の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間}} \times 100$$

SAMPLE

別記様式第16号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の厳重の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年 子牛生産費統計調査票

SAMPLE

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

1．○年１月１日～○年12月31日までの１年間について記入してください。
2．調査項目欄には、右ぢめで記入してください。
3．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4．オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	○

ご不明な点がございましたら、次のお問い合わせ先までご照会ください。

【問合せ先】

2015センサス番号										

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「子牛の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年１月１日～〇年12月31日の間に、次の牛の飼育に要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

① 繁殖雌牛・・・初回種付け以降の肉専用種の雌
② 子　　牛・・・自家で飼育している繁殖雌牛から生まれた、地域で一般的に取引される月齢に達するまでの子牛

→ 調査では、これらの牛を**「調査対象畜」**といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。
例えば、調査対象畜以外の牛も飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例１を、わからない場合には下の記入例２を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例１　調査対象畜分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140ｔ、７百万円の配合飼料を給与した場合、数量に**140ｔ**、金額に**７百万円**を記入し、調査対象畜負担割合を**100%**と記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	140	t	7000000	100

●記入例２　調査対象畜分の給与量・金額を記入できない場合（調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合）

経営全体で200ｔ、１千万円の配合飼料を給与した場合、数量に**200ｔ**、金額に**１千万円**を記入し、調査対象畜負担割合には、**経営全体に占める調査対象畜の割合**を記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	200	t	10000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜以外の家畜を飼育している場合の設定方法を説明します。（※ここでは、調査対象畜と肥育牛を飼育している場合の例で説明します。）

（１）配合飼料の場合

経営全体の家畜（繁殖雌牛＋子牛＋肥育牛）の飼養頭数のうち、繁殖雌牛と子牛の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{繁殖雌牛と子牛の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち繁殖雌牛と子牛が21頭、肥育牛が９頭の場合の調査対象畜負担割合は７０％（21頭÷30頭×100）になります。

（２）畜舎の場合

畜舎の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した畜舎の面積}}{\text{畜舎の全面積}} \times 100$$

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜に240㎡、肥育牛に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は８０％（240㎡÷300㎡×100）になります。

（３）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外に90日使用した場合の調査対象畜負担割合は４０％（60日÷150日×100）になります。

〇調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。以下を参考に記入してください。

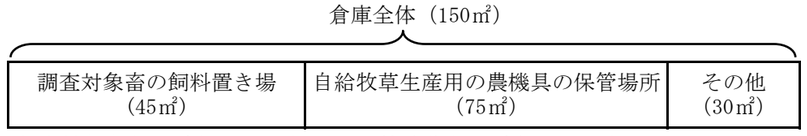
（４）倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の
「調査対象畜負担割合」は３０％（45㎡÷150㎡×100）、
「自給牧草負担割合」は５０％（75㎡÷150㎡×100）になります。
＜倉庫（150㎡）の負担割合のイメージ図＞



SAMPLE

調　査　事　項

ページ

【１】経営の概況 …… 3
経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。

【２】調査対象畜の取引状況 …… 4
繁殖雌牛及び子牛の転入・転出状況、繁殖雌牛の初回種付けの月齢、きゅう肥の利用状況を記入してください。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 5
飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料等の賃借料・料金等を記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担 …… 9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。

【５】消費税 …… 9
消費税申告書により申告した消費税を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9
借入金残高、支払利子を記入してください。

【７】出荷に要した経費 …… 9
出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10
建物・構築物の所有状況を記入してください。

【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11
自動車等の所有状況を記入してください。

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12
農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。

【11】農具の購入費等 …… 13
スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。

【12】作業別労働時間 …… 14
家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地） …… 14
地代を記入してください。

SAMPLE

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　分	所有地（ａ）	借入地（ａ）
	ha　a	ha　a
田		
普　通　畑		
樹　園　地		
牧　草　地		

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　分	用語の説明	男（人）	女（人）
世　帯　員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農　業　就　業　者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる	いない

通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）

【２】調査対象畜の取引状況

１　農家団体コード（牛トレサ関係）

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。
複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

農家団体コード１	農家団体コード２	農家団体コード３

２　調査対象畜の転入・転出状況

１年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。
また、子牛を売却した場合は、売却時生体重を記入してください。

子牛の売却額は、受取金額から市場手数料などを除いた金額を記入してください。

個体識別番号 （10ケタの耳標番号）	名　称 （記入は任意）	異動月	異動の内　容 （該当に○）	取引金額（円） （購入額、売却額）	子牛のみ記　入 売却時生体重
			転入　転出	万 千 百 十	kg
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		

２　調査対象畜の転入・転出状況（続き）

個体識別番号 （10ケタの耳標番号）	名　称 （記入は任意）	異動月	異動の内　容 （該当に○）	取引金額（円） （購入額、売却額）	子牛のみ記　入 売却時生体重
			転入　転出	万 千 百 十	kg
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		
			転入　転出		

SAMPLE

【２】調査対象畜の取引状況（続き）

３　初回種付けした繁殖雌牛

１年間に初回の種付けをした繁殖雌牛の個体識別番号、初回種付け月を記入してください。

個体識別番号（10ケタの耳標番号）	初回種付け月
	月

個体識別番号（10ケタの耳標番号）	初回種付け月
	月

４　きゅう肥の利用状況

１年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合（%）	販売用	自家利用	廃棄
100			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。
（販売用、自家利用、廃棄の合計が100%になるように記入。）

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。

販売金額（円）
万 千 百 十

物々交換した場合は、その交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名（具体的に記入）	数量	単位
	万 千 百 十	

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等

１　購入飼料

１年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
（自給飼料は、６ページに記入してください。）

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には、「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり、調査頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

区分		数量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
		万 千 百 十		万 百 十	%
穀類	大麦				
	その他の麦				
	とうもろこし				
	大豆				
	飼料用米				
	その他の穀類				
ぬか・ふすま類	小麦ふすま				
	米ぬか・麦ぬか				
	その他のぬか・ふすま類				
植物性かす類	大豆油かす				
	ビートパルプ				
	その他の植物性かす類				
配合飼料					
TMR（粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）					
牛乳脱脂乳					
いも類及び野菜類					
わら類	稲わら				
	その他のわら類（麦わら等）				
生牧草					
乾牧草	ヘイキューブ				
	その他の乾牧草				
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）				
	稲発酵粗飼料				
	その他のサイレージ				
上記以外の購入飼料					

SAMPLE

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

２　自給飼料

【調査対象畜負担割合について】
・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、１年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。
また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製する前の重量）です。

区分		自給飼料の例示	生牧草（生の状態で給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	乾牧草（乾燥させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	サイレージ（発酵させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	左記の牧草の生産状況 作付面積	収穫量	単位
いね科	デントコーン		万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	ha a	万 千 百 十	
	イタリアンライグラス													
	ソルゴー													
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ												
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草												
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草												
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草												
その他の牧草		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等												
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類												
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等												
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの												
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し乾燥させて給与するもの												
放牧時間（放牧場）		放牧場における放牧時間		時間										

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。

%

・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、１年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例

・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与
・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与　など

作物名（具体的に記入）	数量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		%

SAMPLE

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

３　種付料

(1) 種付けに支払った料金を記入してください。
（精液代、種付料等）

種付料金（円）	万	千	百	十

(2) 自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数を記入してください。

延べ種付回数（回）	万	千	百	十

４　敷料費

(1) 購入

１年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区　分	金　額（円） 万	千	百	十	調査対象畜負担割合 %
計					
稲わら					
おがくず					
麦わら					
乾牧草					
その他					

物々交換した場合						
品目名（具体的に記入）	数量 万	千	百	十	単位

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量 万	千	百	十	単位	調査対象畜負担割合 %

５　光熱動力費

(1) 購入

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円） 万	千	百	十	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草
計						
重油						
軽油						
灯油						
ガソリン						
水道料						
電力料						
その他						

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量 万	千	百	十	単位	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草

【自給で使用した燃料の例】　薪、木炭　など

SAMPLE

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

６　獣医師料及び医薬品費

１年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
	万 千 百 十	%	
計			
獣医師料			獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

７　賃借料及び料金

１年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草	賃借料及び料金の例示
	万 千 百 十	%	%	
計				
共同利用負担金				共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農具借料				農機具のリース代
その				削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金　等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

８　草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

１年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金（円）		土地改良事業の負担金（円）		
草地造成事業	草地整備事業	事業番号（　）	事業番号（　）	事業番号（　）
万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十

①　ほ場整備事業、②　農地開発事業、③　かんがい排水事業、④　農道（牧道）整備事業、⑤　その他の整備事業

・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

９　その他の資材等

前記１～８以外で、１年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために使用した購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。
また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資　材　名　等	数　量 単位	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草
		万 千 百 十		
購入 計				
自給		万 千 百 十		

【調査対象畜に使用した資材例】
ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙　など

【自給牧草の生産に使用した資材例】
牧草の種子、肥料、諸材料、農薬、きゅう肥（購入・自給）　など

SAMPLE

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分		金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計		万 千 百 十		
固定資産税	建　物			
	農機具			
都市計画税（土地以外）				
不動産取得税（土地以外）				
自動車取得税				
共同施設税				

注：　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜又は自給牧草への**使用面積割合**を記入してください。

○固定資産税（農機具）、自動車取得税、共同施設税の場合は、自動車・農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜又は自給牧草への**使用日数割合**を記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する公課諸負担額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	公課諸負担の例示
計	万 千 百 十			
集落協議会費				地域集落等の会費
農業協同組合費				農業協同組合の組合費、賦課金
肉用牛組合費				
農事実行組合費				実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金				

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、肉用牛組合費及び農事実行組合費の場合は、**農業収入に占める調査対象畜の収入割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。
○家畜共済組合賦課金の場合は、**飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

【５】消費税

消費税申告書により申告した調査対象畜分の消費税額を記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合
消　費　税　（納付額）	万 千 百	%

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（１月１日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。
また、１年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借　入　金　　類	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計	万 千 百 十	万 千 百 十		
買　掛　未　払　金				

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

【７】出荷に要した経費

１年間に子牛を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。

区　　分	金額、時間	出荷に要した経費の例示
材　　料（円）	万 千 百 十	出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金　等
料　　金（円）		出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金　等
労働時間（時間）	時間	子牛を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間

SAMPLE

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積（㎡）又は施設数（基）	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の火災保険料を記入してください。	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1				千 百 十				年	月	億 千 百 十 万	千 百 十 万	千 百 十 万	千 百 十 万				千 百 十 万
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

SAMPLE

種類コード

建築物					
1	住宅	4	作業場	9	堆い肥舎・たい肥盤
2	事務所	6	畜舎	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	8	格納庫	13	その他の建築物

構築物					
20	牧柵	24	飼料用タンク	29	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊｳｽ利用乾燥施設
21	電気牧柵	26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設	31	その他の構築物
23	サイロ	28	脱臭施設		

構造コード

建築物（1　住宅）～（13　その他の建築物）

1	木造	4	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	7	金属
2	合成樹脂造	5	鉄骨造	8	その他
3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	6	木造モルタル		

構築物（20　牧柵）～（31　その他の構築物）

1	ｺﾝｸﾘｰﾄ、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。

・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
・バンカーサイロのビニールの張替え費　など

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円） 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円） 当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円） 当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円） 当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円） 廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十				万 千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード		
（１　貨物自動車）		
1	普通自動車	
2	普通自動車（ダンプ式）	
3	普通自動車（ダンプ式以外）	
（２　その他の自動車）		
1	軽自動車	
2	普通自動車	
3	自動二輪・三輪	

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（車両分を含む。）の掛金を記入してください。

異動コード	
1	売　却
2	廃　棄　等

SAMPLE

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新品	中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	百 十				万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード							
5	農用ﾄﾗｸﾀｰ	32	モア	40	飼料粉砕機	52	固液分離機
6	プラウ	34	ﾓｰﾄﾞﾗｰ	41	飼料配合機	53	自動給水機
7	ハロー	35	ベーラー	42	ﾊﾞｰﾝｸﾘｰﾅｰ	54	トレーラー
8	ﾏﾆｭｱｽﾌﾟﾚｯﾀﾞｰ	36	集草機	48	自動給餌機	55	運搬用機具
11	牧草は種機	37	他の牧草収穫機	49	ローダー	56	その他の農機具等
16	中耕除草機	38	積込機	50	ﾊﾞｷｭｰﾑｶｰ	57	パソコン
17	動力噴霧機	39	搬送・吹上機	51	ふん尿搬出機	58	その他の生産管理機器

型式コード	
（56　その他の農機具等）	
1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年
上記以外の農機具等	
6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

SAMPLE

【11】農具の購入費等

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
	（計）	万 千 百 十			
農業被服等の購入費					【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草刈き、飼料缶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容
	（計）	万 千 百			
生産管理関係の費用					【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

SAMPLE

【12】作業別労働時間

1　調査対象畜に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に１日当たりの平均作業時間を記入し、下段に１年間の従事日数を記入してください。

「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水	敷料搬入・きゅう肥搬出	その他の飼育作業
	(男)(女)		家族 雇用	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日
	(男)(女)		家族 雇用	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日
	(男)(女)		家族 雇用	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日
	(男)(女)		家族 雇用	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日
	(男)(女)		家族 雇用	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日
	(男)(女)		家族 雇用	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日

2　調査対象畜に関する定型以外の作業

「作業名」欄の（　）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。

ここには、研修・技術習得・簿記記帳等の経営管理の時間、自給飼料（牧草等）の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）
	(男)(女)		家族 雇用	時間	時間	時間	時間	時間
	(男)(女)		家族 雇用					
	(男)(女)		家族 雇用					
	(男)(女)		家族 雇用					
	(男)(女)		家族 雇用					

3　支払賃金

雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区　分	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
男	万 千 百 十		
女			

・「支払賃金」は、調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の生産のための支払い分を記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草及びその他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給牧草の負担割合を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地）

過去１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。

なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1　所有地

ほ　場　名	ほ場の例示	実面積 ha a	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
建　物　敷　地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地			
運　動　場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。）に利用した土地			
牧　草　栽　培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地			
放　牧　地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地			
採　草　地	耕地以外で過去１年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

2　借入地

ほ　場　名	実面積 ha a	支払地代（円） 万 千 百 十	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
建　物　敷　地				
運　動　場				
牧　草　栽　培				
放　牧　地				
採　草　地				

SAMPLE

別記様式第17号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

SAMPLE

農業経営統計調査

○年 育成牛 ・ 肥育牛生産費統計調査票

[乳用雄育成牛・交雑種育成牛・去勢若齢肥育牛・乳用雄肥育牛・交雑種肥育牛]

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

1．○年１月１日～○年12月31日までの１年間について記入してください。
2．調査項目欄には、右ぢめで記入してください。
3．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4．オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	○

ご不明な点がございましたら、次のお問い合わせ先までご照会ください。

【問合せ先】

2015センサス番号										

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「育成牛若しくは肥育牛の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年１月１日～〇年12月31日の間に、次の牛の飼育に要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

乳用雄育成牛・・・肥育用もと牛として育成している乳用種の雄牛
交雑種育成牛・・・肥育用もと牛として育成している交雑種の牛
去勢若齢肥育牛・・肉用に販売する目的で肥育している去勢和牛
乳用雄肥育牛・・・肉用に販売する目的で肥育している乳用種の雄牛
交雑種肥育牛・・・肉用に販売する目的で肥育している交雑種の牛

→ 調査の対象となる牛を**「調査対象畜」**といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。
例えば、調査対象畜以外の牛も飼育している場合には、調査対象畜分と経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合は下の記入例１を、わからない場合には記入例２を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例１　調査対象畜分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140ｔ、７百万円の配合飼料を給与した場合、数量に**140ｔ**、金額に**７百万円**を記入し、調査対象畜負担割合を**100%**と記入してください。

区分	数量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配合飼料	140	t	7000000	100

●記入例２　調査対象畜分の給与量・金額を記入できない場合（調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合）

経営全体で200ｔ、１千万円の配合飼料を給与した場合、数量に**200ｔ**、金額に**１千万円**を記入し、調査対象畜負担割合には、**経営全体に占める調査対象畜の割合**を記入してください。

区分	数量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配合飼料	200	t	10000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜以外の家畜を飼育している場合の設定方法を説明します。（※ここでは、肥育牛と搾乳牛を飼育している事例で説明します。）

（１）配合飼料の場合

経営全体の家畜（肥育牛＋搾乳牛）の飼養頭数のうち、調査対象畜の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち肥育牛が21頭、搾乳牛が９頭の場合、調査対象畜負担割合は７０％（21頭÷30頭×100）になります。

（２）畜舎の場合

畜舎の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した畜舎の面積}}{\text{畜舎の全面積}} \times 100$$

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜に240㎡、調査対象畜以外に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は８０％（240㎡÷300㎡×100）になります。

（３）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外に90日使用した場合の調査対象畜負担割合は４０％（60日÷150日×100）になります。

◎調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。以下を参考に記入してください。

（４）倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の
「調査対象畜負担割合」は３０％（45㎡÷150㎡×100）、
「自給牧草負担割合」は５０％（75㎡÷150㎡×100）になります。
＜倉庫（150㎡）の負担割合のイメージ図＞

倉庫全体（150㎡）

調査対象畜の飼料置き場（45㎡）	自給牧草生産用の農機具の保管場所（75㎡）	その他（30㎡）

調査対象畜負担割合：３０％　　自給牧草負担割合：５０％

SAMPLE

調　査　事　項

ページ

【１】経営の概況 …… 3
経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。

【２】調査対象畜の取引状況 …… 4
調査対象畜の購入・売却状況等を記入してください。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 5
飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料等の賃借料・料金等を記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担 …… 9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。

【５】消費税 …… 9
消費税申告書により申告した消費税を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9
借入金残高、支払利子を記入してください。

【７】出荷に要した経費 …… 9
出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10
建物・構築物の所有状況を記入してください。

【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11
自動車等の所有状況を記入してください。

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12
農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。

【11】農具の購入費等 …… 13
スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。

【12】作業別労働時間 …… 14
家族、雇用者の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地） …… 14
地代を記入してください。

SAMPLE

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　分	所有地（ａ）	借入地（ａ）
	ha　a	ha　a
田		
普　通　畑		
樹　園　地		
牧　草　地		

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　分	用語の説明	男（人）	女（人）
世帯員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農業年雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を〇で囲んでください。　いる　いない

通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）

SAMPLE

【２】調査対象畜の取引状況

１　農家団体コード（牛トレサ関係）

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。
複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

農家団体コード１	農家団体コード２	農家団体コード３

２　調査対象畜の購入・売却状況

１年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。
また、調査対象畜を売却した場合は売却時生体重を記入してください。

売却額は、受取金額から市場手数料などを除いた金額を記入してください。

個体識別番号（10ケタの耳標番号）	名　称（記入は任意）	異動月	購入･売却（該当に〇）	取引金額（円）（購入額、売却額）	売却時生体重（kg）
		月	購入　売却	十　百　十	百　十
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		

２　調査対象畜の購入・売却状況（続き）

個体識別番号（10ケタの耳標番号）	名　称（記入は任意）	異動月	購入･売却（該当に〇）	取引金額（円）（購入額、売却額）	売却時生体重（kg）
		月	購入　売却	万　百　十	百　十
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		
			購入　売却		

【２】調査対象畜の取引状況（続き）

３　きゅう肥の利用状況

１年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合（%）	販売用	自家利用	廃棄
100			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。
（販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。）

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。

販売金額（円）
万 千 百 十

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名（具体的に記入）	数量	単位
	万 千 百 十	

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等

１　購入飼料

１年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
（自給飼料は、６ページに記入してください。）

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には、100としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり、飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 ／ 全体の飼養頭数 ×100

区分		数量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
		万 千 百 十		万 千 百 十	%
穀類	大麦				
	その他の麦				
	とうもろこし				
	大豆				
	飼料用米				
	その他の穀類				
ぬか・ふすま類	こうせん				
	米ぬか・麦ぬか				
	その他のぬか・ふすま類				
植物性かす類	大豆かす				
	ビートパルプ				
	その他の植物性かす類				
配合飼料					
TMR（粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）					
牛乳脱脂乳					
いも類及び野菜類					
わら類	稲わら				
	その他のわら類（麦わら等）				
生牧草					
乾牧草	ヘイキューブ				
	その他の乾牧草				
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）				
	稲発酵粗飼料				
	その他のサイレージ				
上記以外の購入飼料					

SAMPLE

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

２　自給飼料

【調査対象畜負担割合について】
・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製する前の重量）です。

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、１年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。
また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

区分		自給飼料の例示	生牧草（生の状態で給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	乾牧草（乾燥させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	サイレージ（発酵させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	左記の牧草の生産状況 作付面積	収穫量	単位
いね科	デントコーン		万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	ha a	万 千 百 十	
いね科	イタリアンライグラス													
いね科	ソルゴー													
いね科	稲発酵粗飼料	ＷＣＳ：ホールクロップサイレージ												
いね科	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草												
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草												
まぜまき	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草												
その他の牧草		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等												
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類												
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等												
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの												
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し乾燥させて給与するもの												
放牧時間（放牧場）		放牧場における放牧時間		時間										

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。

%

・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、１年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例

・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与
・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与　など

作物名（具体的に記入）	数量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		%

SAMPLE

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

３　敷料費

(1) 購入

１年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十	%
計		
稲わら		
おがくず		
麦わら		
乾牧草		
その他		

物々交換した場合		
品目名（具体的に記入）	数量	単位
	万 千 百 十	

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合は「100」としてください。
・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		

４　光熱動力費

(1) 購入

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円）	負担割合（%）	
		調査対象畜	自給牧草
	万 千 百 十		
計			
重油			
軽油			
灯油			
ガソリン			
水道料			
電力料			
その他			

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量	単位	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草
	万 千 百 十			

【自給で使用した燃料の例】　薪、木炭　など

SAMPLE

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

５　獣医師料及び医薬品費

１年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
	万 千 百 十	%	
計			
獣医師料			獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

６　賃借料及び料金

１年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草	賃借料及び料金の例示
	万 千 百 十	%	%	
計				
共同利用負担金				共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農具借料				農機具のリース代
その				削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金　等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

７　草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

１年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金（円）		土地改良事業の負担金（円）		
草地造成事業	草地整備事業	事業番号（　）	事業番号（　）	事業番号（　）
万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十

①　ほ場整備事業、②　農地開発事業、③　かんがい排水事業、④　農道（牧道）整備事業、⑤　その他の整備事業

・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

８　その他の資材等

前記１～７以外で、１年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために使用した購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。
また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資　材　名　等	数　量	単位	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草
			万 千 百 十		
購入 計					
自給			万 千 百 十		

【調査対象畜に使用した資材例】
ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙　など

【自給牧草の生産に使用した資材例】
牧草の種子、肥料、諸材料、農薬、きゅう肥（購入・自給）　など

SAMPLE

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分			金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計			万 千 百 十		
	固定資産税	建　物			
		農機具			
	都市計画税（土地以外）				
	不動産取得税（土地以外）				
	自動車取得税				
	共同施設税				

注：　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜又は自給牧草への**使用面積割合**を記入してください。

○固定資産税（農機具）、自動車取得税、共同施設税の場合は、自動車・農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜又は自給牧草への**使用日数割合**を記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する公課諸負担額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分		金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	公課負担の例示
計		万 千 百 十			
	集落協議会費				地域集落等の会費
	農業協同組合費				農業協同組合の組合費、賦課金
	肉用牛組合費				
	農事実行組合費				実行組合、農家組合等の会費、賦課金
	家畜共済組合賦課金				

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、肉用牛組合費及び農事実行組合費の場合は、**農業収入に占める調査対象畜の収入割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。
○家畜共済組合賦課金の場合は、**飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

【５】消費税

消費税申告書により申告した調査対象畜分の消費税額を記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合
消　費　税　（納付額）	万 千 百 十	%

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（１月１日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の「計」に記入してください。
また、１年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借　入　金　類	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計	万 千 百 十	万 千 百 十		
買　掛　未　払　金				

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

【７】出荷に要した経費

１年間に調査対象畜を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。

区　　分	金額、時間	出荷に要した経費の例示
材　　料（円）	万 千 百 十	出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金　等
料　　金（円）		出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金　等
労働時間（時間）	時間	調査対象畜を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間

SAMPLE

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
- 該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積（㎡）又は施設数（基）	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の火災保険料を記入してください。	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1				千 百 十				年	月	億 千 百 十 万	千 百 十 万	千 百 十 万	千 百 十				千 百 十 万
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

SAMPLE

種類コード

建築物					
1	住宅	4	作業場	9	たい肥舎・たい肥盤
2	事務所	6	畜舎	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	8	車庫	13	その他の建築物

構築物					
20	牧柵	24	飼料用タンク	29	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊｳｽ利用乾燥施設
21	電気牧柵	26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設	31	その他の構築物
23	サイロ	28	脱臭施設		

構造コード

建築物（1　住宅）～（13　その他の建築物）

1	木造	4	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	7	金属
2	合成樹脂造	5	鉄骨造	8	その他
3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	6	木造モルタル		

構築物（20　牧柵）～（31　その他の構築物）

1	ｺﾝｸﾘｰﾄ、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。
- 畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
- 畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
- バンカーサイロのビニールの張替え費　など

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「０（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十				万 千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード		
（１　貨物自動車）		
1	普通自動車	
2	普通自動車（ダンプ式）	
3	普通自動車（ダンプ式以外）	
（２　その他の自動車）		
1	軽自動車	
2	普通自動車	
3	自動二輪・三輪	

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（車両分を含む。）の掛金を記入してください。

異動コード	
1	売　却
2	廃　棄　等

SAMPLE

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	百 十				万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

種類コード								
5	農用ﾄﾗｸﾀｰ	32	ﾓｱ	40	飼料粉砕機	52	固液分離機
6	プラウ	34	ﾛｰﾀｰ	41	飼料配合機	53	自動給水機
7	ハロー	35	ベーラー	42	ﾊﾞｰﾝｸﾘｰﾅｰ	54	トレーラー
8	ﾏﾆｭｱｽﾌﾟﾚｯﾀﾞｰ	36	集草機	48	自動給餌機	55	運搬用機具
11	牧草は種機	37	他の牧草収穫機	49	ローダー	56	その他の農機具等
16	中耕除草機	38	積込機	50	ﾊﾞｷｭｰﾑｶｰ	57	パソコン
17	動力噴霧機	39	搬送・吹上機	51	ふん尿搬出機	58	その他の生産管理機器

型式コード	
（56　その他の農機具等）	
1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年
上記以外の農機具等	
6	その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

SAMPLE

【11】農具の購入費等

１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
	（計）	万 千 百 十			
農業被服等の購入費					【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草刈き、飼料缶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容
	（計）	万 千 百			
生産管理関係の費用					【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

SAMPLE

【12】作業別労働時間

1　調査対象畜に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に１日当たりの平均作業時間を記入し、下段に１年間の従事日数を記入してください。

「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水	敷料搬入・きゅう肥搬出	その他の飼育作業
	(男)(女)		家族(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		家族(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		家族(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		家族(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	
	(男)(女)		家族(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日
	(男)(女)		家族(雇用)	時間 分	時間 分	時間 分
				日	日	日

2　調査対象畜に関する定型以外の作業

「作業名」欄の（　）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。

ここには、研修・技術習得・簿記記帳等の経営管理の時間、自給飼料（牧草等）の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）
	(男)(女)		家族(雇用)	時間	時間	時間	時間	時間
	(男)(女)		家族(雇用)					
	(男)(女)		家族(雇用)					
	(男)(女)		家族(雇用)					
	(男)(女)		家族(雇用)					

3　支払賃金

雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区　分	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
男	万 千 百 十		
女			

・「支払賃金」は調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の生産のための支払い分を記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草及びその他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給牧草の負担割合を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地）

過去１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。

なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1　所有地

ほ　場　名	ほ場の例示	実面積 ha	実面積 a	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
建　物　敷　地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地				
運　動　場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。）に利用した土地				
牧　草　栽　培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地				
放　牧　地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地				
採　草　地	耕地以外で過去１年間に調査対象畜用の野草を採草した土地				

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

2　借入地

ほ　場　名	実面積 ha	実面積 a	支払地代（円） 万 千 百 十	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
建　物　敷　地					
運　動　場					
牧　草　栽　培					
放　牧　地					
採　草　地					

SAMPLE

別記様式第18号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の厳正な保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年　肥育豚生産費統計調査票

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】　　**◇オンライン調査も可能です。**

1．○年１月１日～○年12月31日までの１年間について記入してください。
2．調査項目欄には、右ぢめで記入してください。
3．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4．オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	○

ご不明な点がございましたら、次のお問い合わせ先までご照会ください。

【問合せ先】

2015センサス番号										

SAMPLE

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「肥育豚の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年１月１日～〇年12月31日の間に、次の豚の飼育にかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

① 肉　豚・・・肥育して販売する目的で飼育している豚
② 繁殖豚・・・繁殖用の雄豚及び雌豚
（繁殖用として育成中の豚、繁殖利用後に肥育して販売する豚）
③ 原種豚・・・繁殖豚生産のための原種豚

→ 調査では、これらの豚を**「調査対象畜」**といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。
例えば、調査対象畜以外の家畜を飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例１を、わからない場合には下の記入例２を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例１　調査対象畜（養豚）分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140ｔ、７百万円の配合飼料を給与した場合、数量に**140ｔ**、金額に**７百万円**を記入し、調査対象畜負担割合を**100%**と記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	140	t	7000000	100

●記入例２　調査対象畜（養豚）分の給与量・金額を記入できない場合（調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合）

経営全体で200ｔ、１千万円の配合飼料を給与した場合、数量に**200ｔ**、金額に**１千万円**を記入し、調査対象畜負担割合には、**経営全体に占める調査対象畜の割合**を記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	200	t	10000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、養豚以外の経営を行っている場合の設定方法を説明します。
（※　（１）では調査対象畜と豚以外の家畜を飼育している事例、（２）以降は養豚と稲作の経営を行っている事例で説明します。）

（１）配合飼料の場合

経営全体の家畜（調査対象畜＋豚以外の家畜）の飼養頭数のうち、調査対象畜の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が150頭で、うち肉豚と繁殖豚が105頭、豚以外の家畜が45頭の場合の調査対象畜負担割合は７０％（105頭÷150頭×100）になります。

（２）倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が300㎡で、うち豚の飼料置き場に240㎡、米の肥料置き場に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は８０％（240㎡÷300㎡×100）になります。

（３）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの全使用日数が50日で、うち豚の飼育に20日、米の生産に30日使用した場合の調査対象畜負担割合は４０％（20日÷50日×100）になります。

SAMPLE

調　査　事　項

ページ

【１】経営の概況 …… 3
経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。

【２】生産物の販売等の状況 …… 4
豚の飼養状況、販売状況、購入状況等を記入してください。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 5
飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料や賃借料・料金等を記入してください。

【４】物件税及び公課諸負担 …… 8
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。

【５】消費税 …… 8
消費税申告書により申告した消費税を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8
借入金残高、支払利子を記入してください。

【７】出荷に要した経費 …… 8
出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9
建物・構築物の所有状況を記入してください。

【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10
自動車等の所有状況を記入してください。

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11
農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。

【11】農具の購入費等 …… 12
スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。

【12】作業別労働時間 …… 13
家族、雇用労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。

【13】地代（借入地及び借入地） …… 13
地代を記入してください。

SAMPLE

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　分	所有地（ａ）	借入地（ａ）
	ha　a	ha　a
田		
普　通　畑		
樹　園　地		
牧　草　地		

２　世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区　分	用語の説明	男（人）	女（人）
世　帯　員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家　族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上の者		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の者		
農　業　年　雇	農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。

３　認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる	いない

通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）

【２】生産物の販売等の状況

１　豚の飼養状況

(1) 肥育豚

毎月始め（１日現在）の「肥育豚」及び「肥育用子豚」の飼養頭数を記入してください。
なお、繁殖用とする見込みの子豚は、「(2) 繁殖豚」に記入してください。

毎月始め（１日現在）の「肥育豚」、「子豚」の飼養頭数（頭）	
１月	万 千 百 十
２月	
３月	
４月	
５月	
６月	

毎月始め（１日現在）の「肥育豚」、「子豚」の飼養頭数（頭）	
７月	万 千 百 十
８月	
９月	
10月	
11月	
12月	

(2) 繁殖豚（後継豚を含む。）

年始めにおける繁殖豚の飼養頭数を記入してください。

年始め（１月１日現在）の繁殖豚の飼養頭数（頭）			
繁殖雌豚	種雄豚	後継繁殖雌豚	後継種雄豚
万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十

後継繁殖雌豚、後継種雄豚とは、将来、繁殖用として使用するために育成している子豚です。

２　きゅう肥の利用状況

１年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別の割合を記入してください。

総搬出量の割合（%）	販売用	自家利用	廃棄
１００			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。
（販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。）

「販売用」に該当がある場合、販売金額を記入してください。

販売金額（円）
万 千 百 十

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名（具体的に記入）	数量	単位
	万 千 百 十	

３　肥育豚の販売状況等

１年間に販売した肥育豚について、販売頭数、販売価額、月齢、生体重の合計を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、月別欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
（繁殖豚を繁殖利用後、肥育して肉用として販売した場合には、４に記入してください。）

受取金額から市場手数料などを除いた価額を記入してください。

販売した肥育豚の月齢の合計を記入してください。
例えば、6.6月齢の肥育豚を10頭販売した場合には、66月（6.6月×10頭）と記入してください。

月	販売頭数（頭）	価額（円）	月齢（月）	生体重（kg）
	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十
計				
１月				
２月				
３月				
４月				
５月				
６月				
７月				
８月				
９月				
10月				
11月				
12月				

４　肥育豚以外の販売状況

１年間に販売した子豚、繁殖雌豚、種雄豚、事故豚の販売状況を記入してください。

小数点以下第１位まで記入してください。

区　分	用語の説明	頭数（頭）	平均月齢（月）	価額（円）
		千 百 十	.	万 千 百 十
子　豚	肥育用・繁殖用として販売した豚、通常の出荷体重前に肉用として販売した豚			
繁殖雌豚	廃用後販売した繁殖雌豚（廃用後、肥育して販売した豚を含む。）			
種雄豚	廃用後、販売した種雄豚（廃用後、肥育して販売した豚を含む。）			
事故豚	事故等によりとう汰し、販売した豚			

SAMPLE

【２】生産物の販売等の状況（続き）

５　子豚等の購入状況

１年間に購入した子豚、繁殖雌豚、種雄豚について記入してください。

区　分	用語の説明	頭数（頭）	平均月齢（月）	価額（円）
子　　豚	肥育用として購入した子豚	千 百 十	．	万 千 百 十
繁殖雌豚	子取り用として購入した雌豚（将来、繁殖雌豚とする予定の子豚を含む。）			
種　雄　豚	種付用として購入した雄豚（将来、種雄豚とする予定の子豚を含む。）			

６　繁殖雌豚の分べん状況

１年間に分べんした繁殖雌豚の頭数、子豚の分べん頭数を、黄色の「計」の欄に記入してください。
　なお、月別欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

	分べんした繁殖雌豚（頭）	子豚分べん頭数（頭）
計	千 百 十	万 千 百 十
１月		
２月		
３月		
４月		
５月		
６月		
７月		
８月		
９月		
10月		
11月		
12月		

７　死亡・とう汰した豚の状況

肥育豚及び肥育用子豚のうち１年間に死亡・とう汰した頭数について、黄色の「計」の欄に記入してください。
　なお、月別欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

	死亡・とう汰頭数（頭）
計	千 百 十
１月	
２月	
３月	
４月	
５月	
６月	
７月	
８月	
９月	
10月	
11月	
12月	

死亡・とう汰した豚の死亡・とう汰時の平均的な月齢を小数点第１位まで記入してください。

平均月齢（月）
．

平均的な月齢を、小数点以下第１位まで記入してください。

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等

１　購入飼料

１年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。

・「数量」、「金額」に調査対象畜以外への給与分のみを記入する場合には「100」と記入してください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次の１繰り飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を目安に負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 ／ 全体の飼養頭数 ×100

（※２　自給飼料でも同様です。）

区　分		数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
穀類	大　麦	万 千 百 十		万 千 百 十	%
	その他の麦				
	とうもろこし				
	飼料用米				
	その他の穀類				
ぬか・ふすま類	ふすま				
	その他のぬか・ふすま類				
植物性かす類					
配合飼料					
エコフィード					
脱脂乳					
いも類及び野菜類					
上記以外の購入飼料					

２　自給飼料

１年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を記入してください。

作物名（具体的に記入）	数　量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		%

SAMPLE

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

３　種付料

種付けに支払った料金を記入してください。（精液代、種付料等）

種付料金（円）	万	千	百	十

４　敷料費

(1) 購入

１年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区　分	金　額（円） 万	千	百	十	調査対象畜負担割合 %
計					
稲わら					
おがくず					
麦わら					
乾牧草					
その他					

物々交換した場合		
品目名（具体的に記入）	数量	単位

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を目安に負担割合を記入してください。

(2) 自給

１年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量 万	千	百	十	単位	調査対象畜負担割合 %

５　光熱動力費

(1) 購入

１年間に調査対象畜に使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円） 万	千	百	十	調査対象畜負担割合 %
計					
重　油					
軽　油					
灯　油					
ガソリン					
水道料					
電力料					
その他					

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の使用分を含めて記入する場合には、それぞれの使用割合により記入してください。

(2) 自給

１年間に調査対象畜に使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量 万	千	百	十	単位	調査対象畜負担割合 %

【自給で使用した燃料の例】　薪、木炭　など

SAMPLE

【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

６　獣医師料及び医薬品費

１年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
	万 千 百 十	%	
計			
獣医師料			獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費			豚に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を目安に負担割合を記入してください。

７　賃借料及び料金

１年間に支払った賃借料や料金について、下の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	賃借料及び料金の例示
	万 千 百 十	%	
計			
共同負担金			共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料			農機具のリース代
その他			義務付けられている検査の費用、建物の賃借料等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、それぞれの利用割合により負担割合を記入してください。

８　その他の資材等

・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、それぞれの使用割合により負担割合を記入してください。

前記１～７以外で、１年間に調査対象畜に使用した購入資材の金額又は自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。
また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

	資　材　名　等	数　量	単位	金　額（円）	調査対象畜負担割合
				万 千 百 十	%
購入	計				
自給					

ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙　など

SAMPLE

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した調査対象畜に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分		金　額（円）	調査対象畜負担割合
		万 千 百 十	%
計			
固定資産税	建　物		
	農機具		
都市計画税（土地以外）			
不動産取得税（土地以外）			
自動車取得税			
共同施設税			

注：　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、次の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜の**使用面積割合**を記入してください。

○固定資産税（農機具）、自動車取得税、共同施設税の場合は、自動車・農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜の**使用日数割合**を記入してください。

２　公課諸負担

１年間に負担した調査対象畜に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分		金　額（円）	調査対象畜負担割合	公課諸負担の例示
		万 千 百 十	%	
計				
集落協議会費				地域集落等の会費
農業協同組合費				農業協同組合の組合費、賦課金
養豚組合費				
農事実行組合費				実行組合、農事組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金				

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、次の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、養豚組合費及び農事実行組合費の場合は、**農業収入に占める調査対象畜の収入割合**を記入してください。
○家畜共済組合賦課金の場合は、**飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合**を記入してください。

【５】消費税

消費税申告書により申告した養豚分の消費税額を記入してください。

区　　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十	%
消費税（納付額）		

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜関係の借入金について、調査開始時（１月１日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。
また、１年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借　入　種　類	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十	万 千 百 十	%
計			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜分の借入額又は利子額を記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜（養豚）の収入割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜（養豚）の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

【７】出荷に要した経費

１年間に肥育豚を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。

区　　分	金額、時間	出荷に要した経費の例示
	万 千 百 十	
材　　料（円）		出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金　等
料　　金（円）		出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金　等
労働時間（時間）	時間	肥育豚を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間

SAMPLE

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜の飼育に使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【調査対象畜負担割合について】
・該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を用いて負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用面積 / 経営全体の使用面積 × 100

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積（㎡）又は施設数（基）	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（円）（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費（円）（当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（円）（当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。）	調査対象畜負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）（売却金額、取り壊しの金額）
1				千 百 十				年	月	億 千 百 十 万 千 百 十	千 百 十 万 千 百 十	千 百 十 万 千 百 十	千 百 十 万 千 百 十			千 百 十 万 千 百 十
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

種類コード

建築					
1	住宅	4	作業場	9	たい肥舎・たい肥盤
2	事務所	6	畜舎	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	8	車庫	11	その他の建築物

構築物			
24	飼料用タンク	29	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊｳｽ利用乾燥施設
26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設
27	浄化処理施設	31	その他の構築物
28	脱臭施設		

構造コード

建築物（１　住宅）～（13　その他の建築物）					
1	木造	4	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	7	金属
2	合成樹脂造	5	鉄骨造	8	その他
3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	6	木造モルタル		

構築物（24　飼料用タンク）～（31　その他の構築物）					
1	ｺﾝｸﾘｰﾄ、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用　など

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

SAMPLE

【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜の飼育に使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【調査対象畜負担割合について】
・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を基に負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。自賠責保険（円）	調査対象畜負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○												
3				○	○												
4				○	○												
5				○	○												
6				○	○												
7				○	○												
8				○	○												
9				○	○												
10				○	○												
11				○	○												
12				○	○												
13				○	○												
14				○	○												
15				○	○												

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード			
	（１　貨物自動車）	（２　その他の自動車）	
1	普通自動車	1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）	2	普通自動車
3	普通自動車（ダンプ式以外）	3	自動二輪・三輪

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（車両分を含む。）の掛金を記入してください。

異動コード	
1	売　却
2	廃　棄　等

SAMPLE

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜の飼育に使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

【調査対象畜負担割合について】
・該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合は「100」としてください。
・調査対象畜以外に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用日数 / 経営全体の使用日数 ×100

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円） 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円） 農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円） 当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円） 当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円） 当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	調査対象畜負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円） 廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百			万 千 百 十
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

種類コード			
5	農[illegible]ラクター	51	バキュームカー
8	マニュアスプレッダー	52	固液分離機
17	動力噴霧機	53	自動給水機
40	飼料粉砕機	56	その他の農機具等
41	飼料配合機	57	パソコン
48	自動給餌機	58	その他の生産管理機器
49	レーダー		

型式コード	
（56　その他の農機具等）	
1	その他・耐用年数３年
2	その他・耐用年数４年
3	その他・耐用年数５年
4	その他・耐用年数６年
5	その他・耐用年数７年
上記以外の農機具等	
6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

異動コード	
1	売　却
2	廃　棄　等

SAMPLE

【11】農具の購入費等

１年間に調査対象畜の飼育のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外へ共通して使用している場合には、それぞれへの使用日数の割合等を目安に負担割合を記入してください。

区分（名称等）	金額（円） 万 千 百 十	調査対象畜負担割合（%）	内容例示
（計）			
農具・農業被服等の購入費			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、肥料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、手袋、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

区分（名称等）	金額（円） 万 千 百 十	調査対象畜負担割合（%）	内容例示
（計）			
生産管理関係の費用			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

SAMPLE

【12】作業別労働時間

1　調査対象畜の生産に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に１日当たりの平均作業時間を記入し、下段に１年間の従事日数を記入してください。

「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水	敷料搬入・きゅう肥搬出	その他の飼育作業
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間 分 / 日	時間 分 / 日	時間 分 / 日

2　調査対象畜の生産に関する１以外の作業

「作業名」欄の（　）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。
ここには、事務、技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料の生産のための作業時間を記入してください。

氏　名	性別	年齢	家族・雇用	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）	作業名（　）
	(男)(女)		(家族)(雇用)	時間	時間	時間	時間	時間
	(男)(女)		(家族)(雇用)					
	(男)(女)		(家族)(雇用)					
	(男)(女)		(家族)(雇用)					
	(男)(女)		(家族)(雇用)					

3　支払賃金

雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区分	金　額（円）	調査対象畜負担割合
男	万 千 百 十 円	%
女		

・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への雇用者への支払い分を含めて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地）

１年間に調査対象畜の飼育のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。
なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1　所有地

ほ場名	ほ場の例示	実面積	調査対象畜負担割合
建物敷地	畜舎、納屋及び飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	ha a	%
運動場	豚の運動や放牧に利用した土地		
牧草栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地		
採草地	耕地以外で過去１年間に調査対象畜用の野草を採草した土地		

・該当土地を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

2　借入地

ほ場名	実面積	支払地代（円）	調査対象畜負担割合
建物敷地	ha a	万 千 百 十	%
運動場			
牧草栽培			
採草地			

SAMPLE